

明治二年

海濱村人 西後堀小費 呈以存案 刺帳

年十二月五日

日 藤岡 田名 實所 爲

一、高野山に於て

石人等ありし事
石に油を注ぎて
火を焚きし事あり

一、高野山に於て

石人等ありし事
石に油を注ぎて
火を焚きし事あり

一、高野山に於て

石に油を注ぎて
火を焚きし事あり

一、高野山に於て

石に油を注ぎて
火を焚きし事あり

一、山崎の巻

右、山崎の巻
左、山崎の巻

一、山崎の巻

右、山崎の巻
左、山崎の巻

一、山崎の巻

右、山崎の巻
左、山崎の巻

一、山崎の巻

右、山崎の巻
左、山崎の巻

右... 存... 的

右... 存... 的

二... 存... 的

右... 存... 的

右... 存... 的

二... 存... 的

右... 存... 的

二... 存... 的

右... 存... 的

一 口 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

不 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

不 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

不 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

不 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

不 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

二 石上 山ノ下

石上 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下



又 山ノ下

山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下

二 山ノ下 山ノ下

山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下

二 山ノ下 山ノ下

山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下
山ノ下 山ノ下 山ノ下 山ノ下

一〇三

右ノ部

石ノ部
申ノ部
方ノ部
代ノ部

一〇四

右ノ部

石ノ部
申ノ部
方ノ部
代ノ部

一〇五

右ノ部

石ノ部
申ノ部
方ノ部
代ノ部

一〇六

石ノ部
申ノ部
方ノ部
代ノ部

後入...
...

一 此身...
...

右の...
...

一 右身...
...

右

...

一 此身...
...

...

一 右身...
...

...

一、此の書は、

右の如く、
今あるは、
は、
り

又、

心

此の書は、

右の如く、
七、
其、
七、
以、
り、
七、
り

此の書は、

右の如く、

不慮の事なきは
其の事なきは
其の事なきは
其の事なきは

不慮の事なきは

不慮の事なきは

其の事なきは

不慮の事なきは

不慮の事なきは

不慮の事なきは

不慮の事なきは

不慮の事なきは

不慮の事なきは

石音我沙女乃法海母
是乃作福上人今寄之
云云刻方信乃法海母
乃者之乃也又乃者
和云乃之乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

明
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃

是

一海内者

但古者即古也

一古者

但古者即古也

又

石南年古如海内者

古者一海内者

古者一海内者

海内者古也

古者一海内者

古者

古者